事業者行動(計画·変更計画·報告)書

令和6年 9月 6日

(宛先) 滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘1-1

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名) NISSHAインダストリーズ株式会社

代表取締役 杉原 淳 第25条第3項·第25条第4項

滋賀県COっネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例 第26条第1項 第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

事業者行動計画を策定 事業者行動報告書を作成

したので、提出します。

事業者の氏名	NISSHAインダストリーズ株式会社
(法人にあっては、名称および代表者の氏名)	代表取締役 杉原 淳
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事 務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘1-1

1 事業者の概要

尹未日の帆女									
事業所の名称	NISSHAイ	ンダス	ストリー:	ズ株	式会社	甲賀工	場		
事業所の所在地	滋賀県甲賀	滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘1-1							
主たる事業	日本標準産業会細分類番号		1 5	1	3 ※ 産	産業分類・ 紙以外・		<u>名称を記載</u> 業	
事業の概要	転写箔の製	転写箔の製造(コーティング、印刷、その他加工)							
従業員の数	22	25		人	操	業時間		20	時間/日
	図 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
該当する事業者 の要件	□ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	□ 任意提出	事業者	者						
	ボイラ	15	台	熱	源設備	8	台	照明設備	台
主要な設備	コンプレッサ	50)台	空気	記調和設 備	11	台	その他	脱吴表直 9日 ガス吸収式冷 温装置 3台

計画期間(お上が報告対象年度)

۷.		<u>口刈多牛皮/</u>					
	計画期間	開始 年度	R5	年度	報告対象年度	R5	午度
		終了 年度	R6	年度	│ ₩□バͿ豕平反	1/5	十汉

計画の(内容・実施状況)

計画の 別添のとおり (内容·実施状況)

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

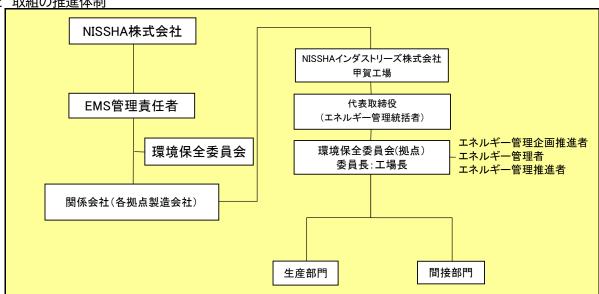
サステナビリティビジョン

CO2排出量を2030年30%削減(2020年比) 2050年にゼロに

2050年のカーボンニュートラルの達成に向けた2030年のCO₂排出量の削減目標を、2021年7月に従来の 20%削減から30%削減(いずれも2020年比)に上方修正

「事業機会の創出」と「リスクの低減」の両面で脱炭素社会の実現に貢献します

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCOっネットゼロ社会づくりに係る取組

ボイラー自動制御装置導入によるガス使用量の削減。 照明のLED化(一部実施済み)、順次更新中 R3年 夏季デマンド 4800kwにて抑制 自動デマンド制御装置の導入。 夏季 屋外空調機器への散水の実施(一部機器) R4年 夏季 屋外空調機器への散水装置の追加設置。

デマンドを4600kwに抑制

生産体制の最適化によるガス使用量の削減。

脱臭装置更新(省エネタイプ) 2024年更新(導入)に向け、導入計画進行中。

導入後は、ガス起因によるCO₂排出は、30%低減の見込み

電力においては、令和4年1月から、関電<再エネECOプレミアムを契約>に切り替え、再生可 能エネルギー由来(水力)の電力を使用している。

R4年12月 蓄熱式脱臭装置 1台稼働

R5年 2月 蓄熱式脱臭装置 2台稼働 ガス使用量 約20%減

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

		実施計画	実績報告	
	取組項目	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	グリーン電力(証書)の購入	R4~	R4年1月より購入
2	運用改善	脱臭装置(直燃式)の稼働の変更	R4~	R4年3月から実施
3	運用改善	脱臭装置(触媒式)の稼働体制の見直し	R4~	R4年11月から実施
4	設備導入	省エネタイプ脱臭装置の導入検討、仕様の決定	R4~	R4年9月から着工
5	設備導入	省エネタイプ脱臭装置の導入	R5~	R5年12月1台、 R6年3月1台

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果	実施計画	実績報告	
	ガスの種類	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

3)上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自	己評価
	取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
	原単位 「電気、ガスから発生するCO₂排出量(t)/生産数(km) 」	
	毎年 1%削減	R5年は、省エネタイプの装置の 導入により、R4年から温室効果 ガスの排出量で15%減となっ た。多品種小ロット、かつ受注に よる生産体制の為、原単位の削 減としては、R3年との比較において、達成しなかった。R6年は、 省エネ装置による温室効果ガス 排出量削減により、原単位の削 減効果が出てくる見込み。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

<u>)温室効果カス排出量</u>	[寺の	美 額					
		計画開始年 度前年度の			実績報告		
		実績	(R4)年度	(R5)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	6,809	7,704	6,155			
温室効果ガス 総排出量	t- CO ₂	10,154	12,721	10,750	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t- CO ₂	10,154	12,721	10750			
非エネルギー起源 CO ₂	t- CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t- CO ₂						
N ₂ O	t- CO ₂						
HFCs	t- CO ₂						
PFCs	t- CO ₂						
SF ₆	t- CO ₂						

エネルギー等原単位の推移 0.689 0.769 0.716

5	再生可能エネル	ギー等の利用	日に関する	11日本
J	- 丁丁二 5186ユニソル	・ マエマングライ		ノムスルロ

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等 ■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画	実績報告	
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

	中長期	日ムカナ	ト日7文F	1 M L	1灾垒
_	$\mathbf{H}_{\mathbf{L}}$	$H \cap M'$	┺┛ ┇╥⊢	11/////	V

■ 甲皮	期的な取組の内容・取組の内容・
	以祖のから
1	
2	
3	
4	
5	

-/	\sim $^{\prime}$	=	マーチャ	玉井口	「ムド・ナー ユ	- II -	<i>-</i> ⊓	/#
(所有す	ヘール	'ш п		くハノコ	二一設	ΙЩ
١	,	//I 🖂 🤊	$\alpha - \sigma$	$rac{1}{1}$	HF;	シレリ		υн

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他()	kW
再工ネ設備を効率的に利用する設備の導入 実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

7 13 2 3 3 3 2 4 7 4 7 3 3		計画開始年度		実績報告								
		前年度の実績	()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再工ネ電気設備 での発電量	kWh											
上記のうち 自家消費量	kWh											

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組 (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

ı,	調定技術山体数に奉うへ温主効木刀へ排山里の推修									
	項目	単	計画開始年度			実績報告				
		位	前年度の実績	(R4)年	(R5)年	()年	()年	()年
	温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	10,154	12,751	10,750					
	【調整後排出係数】	kg- CO2 /kWh	0	0	0					
	特記事項									

(2) クレジット等購入

۰.	/ ノレフノ厂 寸牌八							
ı	項目	単	計画開始年度			実績報告		
ı	次口 	位	前年度の実績	(R4)年	(R5)年	()年	()年	()年
	グリーン証書の購 入	t-CO ₂	3,296	6,285	5,843			
	クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0			
特記事項 関電再生エネECOプラン(プレミアム)の契約。R4年							4年1月より	購入開始。

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

) <u>/</u>	/ 週勤や山張など人の惨動のより物流にのける脱灰系化の栽組寺										
			実施計画								
		取組項目	取組の内容	実施スケ ジュール	実績報告						
	1										
	2										
	3										

(4) 業務で使用する車輌の脱炭素化の取組

F/ 未分に区用する 年 手											
		計画開始年 度前年度の	実績報告								
		保有台数	(R4)年	(R5)年	()年	()年	()年		
保有車輌の数	ብ	8	8	8							
上記のうち 次世代自動車の数	台	4	4	5							
特記事項											

(5) その他のCO2ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	_	実施計画		
	取組項目	取組内容	実施 スケジュール	実績報告
1	3R	廃棄プラスチックを分別し、リサイクルを図る。	R4年~	分別回収実施。
2				
3				
4				
5				